

生産性の向上・雇用の拡大を目指す

企業立地協定調印式



▲調印式に出席した左から目黒町長、山内宏二代表取締役、鈴木直記代表取締役社長、玉井振興局長

町内企業の円滑な事業推進を支援するため、4月19日、役場本庁で企業立地協定調印式が行われました。
今回、町と企業立地協定を結んだ企業は、「株式会社会津工場（二軒在家）」と「株式会社ヒロタテクノ（小林）」の2社


で、同協定を結んだことにより、ふくしま産業復興企業立地補助金を活用され、作業環境の充実や業務の拡張などを図る計画です。

調印式のあいさつで目黒町長は「町も積極的、果敢に企業の経営推進に取り組んでいく。企業の皆さんも事業の拡大に挑んでほしい」と述べました。また、会津工場の鈴木直記代表は「工場の規模を拡大する。さらに発展していきたい」と述べ、ヒロタテクノの山内宏二代表は「品質管理体制の確立を目指す。若い社員も揃いつつある。夢のある会社になりたい」と述べました。


目黒町長が、同協定書に調印後、鈴木代表と山内代表は、玉井章福島県南会津地方振興局長に同補助金の申請書を提出しました。今後、2社は補助金交付決定後、それぞれの事業計画に着手される予定で、雇用の拡大も見込まれています。

企業立地協定を結んだ企業の概要

◆株式会社 会津工場

本 社	二軒在家字上夕毛	 鈴木直記氏
資 本 金	4,800万円	
主要製品	自動車部品、過給機用部品、給湯機部品	
計画雇用	5人	
計画内容	主力の鋳物製品の増産対応とコスト低減化を目的に、生産ラインの効率化と作業環境改善を図る。建屋増設及び用地取得、各種設備投資。	

◆株式会社 ヒロタテクノ

本 社	小林字下前田	 山内宏三氏
資 本 金	500万円	
主要製品	精密部品加工（アルミ）	
計画雇用	9人	
計画内容	工場の業務拡張、設備の増強により地元雇用の拡大を図る。工場の新設、増設及び用地取得、複合加工機等を増強し、試作・高難易度・少量品・量産品等のニーズに対応できる受注体制の確立。	



河井継之助記念館より

企画展を開催中

現在、河井継之助記念館（塩沢）では、企画展「河井継之助と山本帯刀」を開催しています。また、「南会津戊辰戦争・滝原の戦い（只見町坂田地区での戦い）」の屏風図を複製し展示公開していますので、この機会に只見の歴史に触れてみてください。ご来館をお待ちしております。

- 入館料 大人 300円
子ども 100円
- 定休日 毎週木曜日

百歳賀寿

おめでとうございます

飯塚キヌエさん（坂田）
五十嵐ヨシイさん（長浜）
が満百歳

4月12日に飯塚キヌエさんが、4月28日には五十嵐ヨシイさんが満百歳の誕生日を迎えられ、同日に知事賀寿贈呈式が飯塚キヌエさんは介護老人保健施設こぶし苑で、五十嵐ヨシイさんは特別養護老人ホーム只見ホームで行われました。

はじめに近内保二南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と長寿を記念しての木杯が贈られました。続いて、只見町、町議会、町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会、各地区老人クラブなどから、お祝いの記念品などが贈られました。また、親族の方からは、お祝いの花束も手渡されました。お二人の長生きの秘訣は、気持ち強く持つこと、よく働き、よく食べること。とのことでした。おめでとうございます。



▲百歳を迎えた五十嵐ヨシイさん(中央)



▲百歳を迎えた飯塚キヌエさん(左から2人目)

只見町と三条市の懇談会

国道289号八十里越の早期開通に向け連携強化

国道289号八十里越の早期開通に向け、只見町と新潟県三条市の連携を高めることや、連携を強化していくことなどを目的に、4月26日、役場本庁で只見町と三条市の懇談会が開かれました。三条市からは、永井努営業戦略室長はじめ、鷹田真六下田商工会長、杉野真司三条観光協会会長ら9名が出席、当町からは、五十嵐一彦交流推進班長、菅家俊一只見町商工会長、目黒千代作只見町観光まちづくり協会副会長ら7名が出席しました。会議では、只見町と三条市の行政や商工会、観光協会などの関係機関が一体となって、地域振興を図っていくための新たな組織を設立できないか協議されたほか、観光ツアーの実施についてや、情報発信、観光交流などの方法についても意見が交わられました。今後も、随時懇談会は行われる予定です。



▲今後の活動計画などが協議された懇談会

区長と町当局が活発な意見交換

平成24年度町政報告会

4月25日に、季の郷湯ら里で区長連絡協議会総会が行われ、終了後に平成24年度町政報告会が開かれました。役場からは目黒町長、久保副町長、各課等の長が出席し、区長との意見交換を行いました。

はじめに目黒町長から、「町の進展のため、各事業の実施について、ご理解とご協力をお願いし、皆さんの共通認識をいただきますので、ご意見をお願いします」とあいさつがありました。続いて、各担当課長などから

本年度の重点事項や協力事項についての説明が行われ、質疑応答に入りました。質疑応答では、集会施設の修繕、薪の灰に係る放射能検査結果の周知、原発事故に伴う土壌のモニタリング調査の実施、災害時の避難誘導対策、立木などの線量調査の実施、林道除雪の実施、集会所の浄化槽整備などについて、要望や意見が出され、担当課長などから現状の報告や、今後の進め方の説明がありました。対策が必要な課題や、報告を要する事案については、調査検討のうえ、随



▲意見交換で発言される区長

時連絡を取ることとし、町政報告会は終了しました。